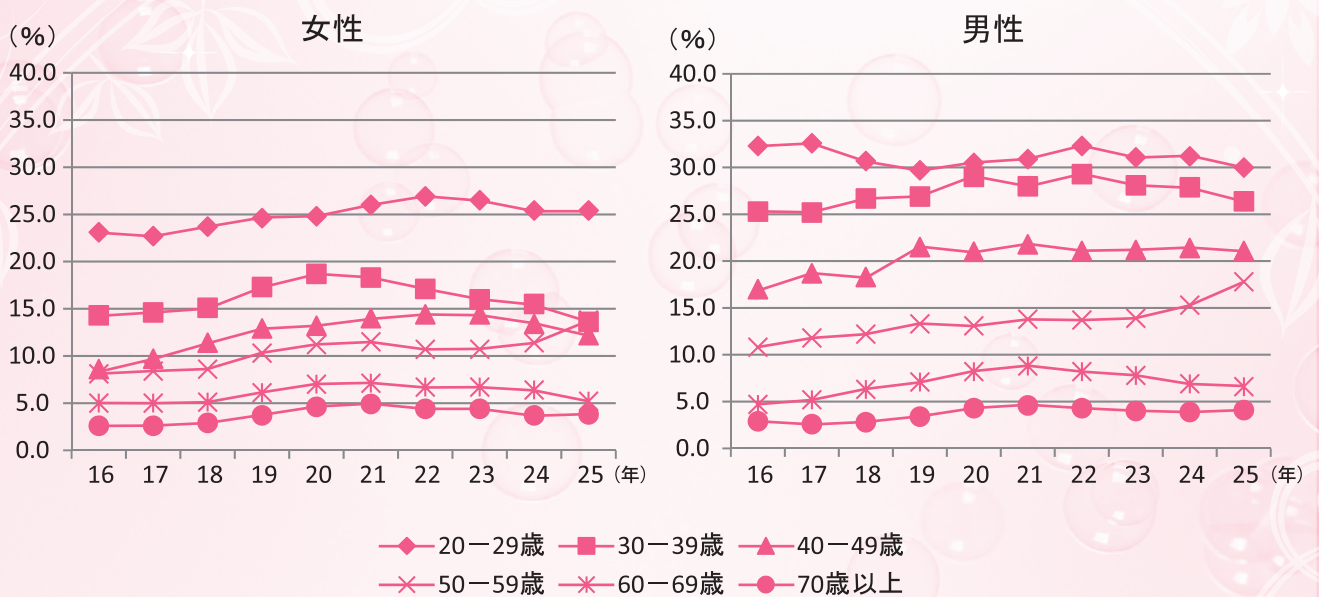


ウィルプラス

WILL PLUS No.84 2015

公益財団法人 あいち男女共同参画財団

朝食の欠食状況の年次推移 (平成16年～25年、20歳以上)



資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査」(平成15年～25年)より作成

過去10年間の推移をみると、男女共にほぼ横ばいだが、女性の20代と男性の20代、30代の欠食率が目立ちます。

特集 体は食べ物からつくれる

～食育を全ての世代に～ 1～2

映画祭御礼 3

団体紹介 4

すいか隊

女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介コーナー 5

株式会社豊田自動織機

中部国際空港旅客サービス株式会社

情報ライブラリー Book Cafe 6

虹色ミックスジュース～多様なパートナー・家族のかたち

ウィルおじさん 7

ウィルあいち案内 7

体は食べ物からつくられる ～食育を全ての世代に～

きちんと「食事」をとっていますか。近年、食生活が変化し、肥満や生活習慣病の増加など様々な問題が生じています。そこで、「食」について改めて意識を高め、生涯を通じた健康づくりを実践するために、食育に関する取組やアドバイスを、本多京子先生にお伺いしました。

食育基本法が制定されてから10年経過しました。「食育」という言葉は医師であり薬剤師でもあった石塚左玄（嘉永4年～明治42年）が明治31年（1898年）に「通俗食物養生法」という本の中で「今日、学童を持つ人は、体育も智育も才育も全て食育にあると認識すべき」という表現をしたのが始まりとされています。「食育」が大事とされるのは、食べる力が「生きる力」を養い、食べ物を大切にすることが人を大切にする気持ちを育てる

からです。

●食に対する関心度低く、知識と体験のなさが問題

食の豊かさと自由がグルメや健康志向を生む一方で、最近では食べ物の名前を知らない、どうやって作られたのかわからない、箸がきちんと持てない、自分の食べたいものだけを優先するといった人が増えています。また、健康は気になるけれど「手間や面倒は省きたい」という人も増加しています。「調理に手間をかけない」と人と「調理しない」と人を合わせると7割を超えているというデータ（平成19年度食と農への理解を基礎とする新たなライフスタイルの確率に関する調査）も発表されています。そのため、アメリカ穀物協会では2040年には日本の食品の70%が家庭外で調理されている可能性が高いと予測しています。

図1 〈肥満者の割合〉（20歳以上・男性） BMI25以上の人

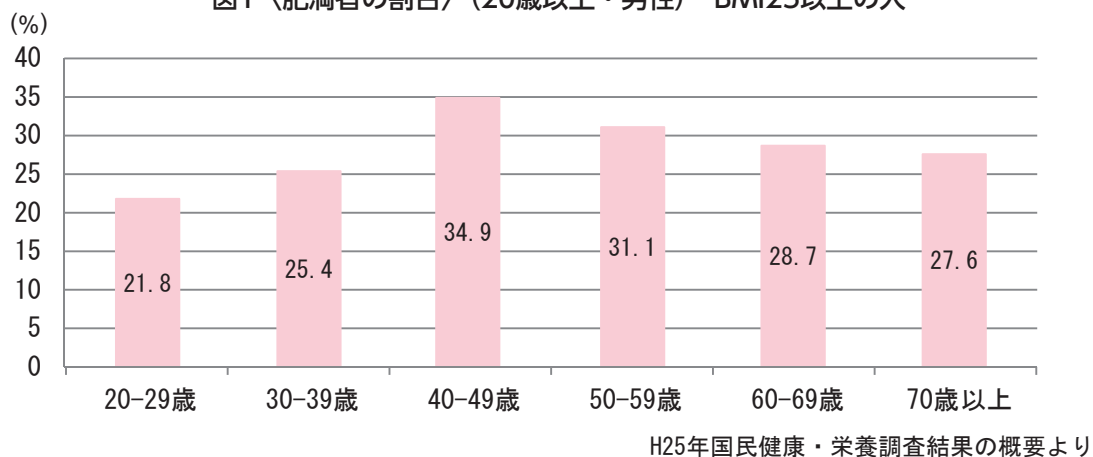
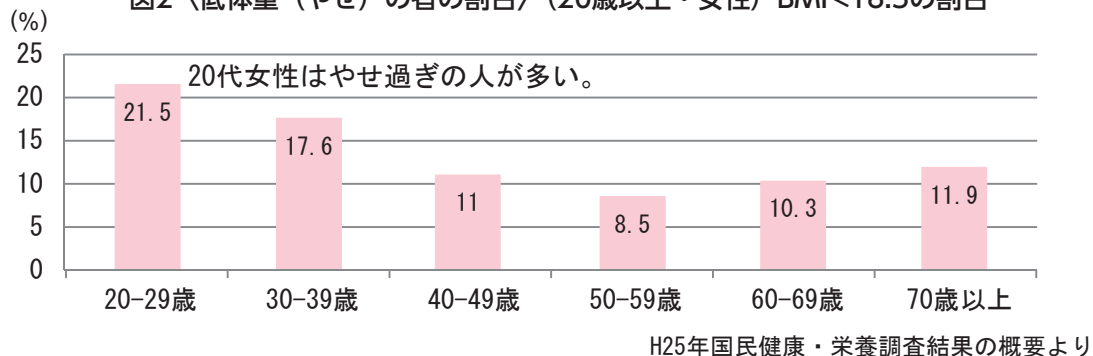
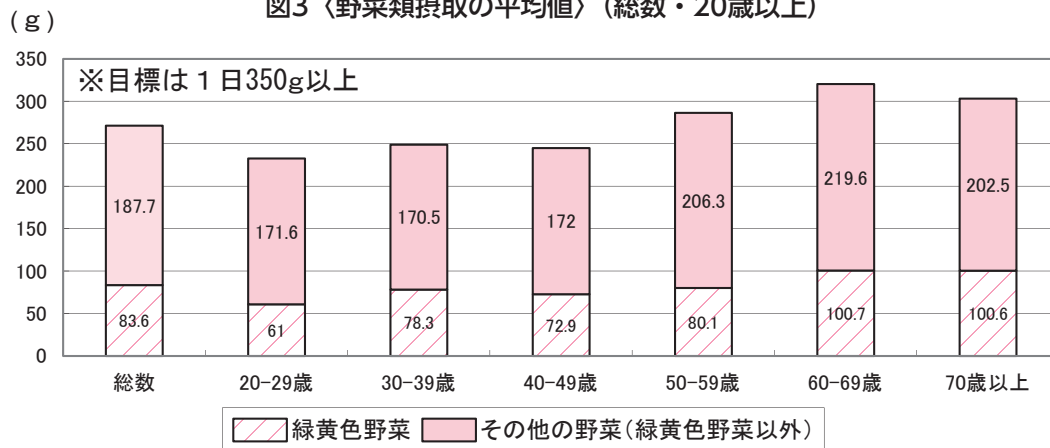


図2 〈低体重（やせ）の者の割合〉（20歳以上・女性） BMI<18.5の割合



※ BMI（体格指数）＝体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）

図3 〈野菜類摂取の平均値〉（総数・20歳以上）



H25年国民健康・栄養調査結果の概要より

●子供の『こしょく』大人の『肥満とやせ』

「食べる」ことは「生きる」基本であり、食にかかわることを通して命の尊さを知り、作り手への感謝の心が芽生え、食べ物を育てている風土や文化とのつながりを感じるものなのに、便利さと経済性を重視した食生活が続いた結果、さまざまな問題を引き起こしています。「社会の歪み」は弱い立場の人により大きな影響を及ぼすので、『食の歪み』も子供から始まりました。

子供の孤食・個食・固食・粉食・小食・濃食などの『こしょく』が浮き彫りにされ、その後、子育て世代にあたる働き盛りの人たちの朝食抜きや野菜不足なども問題になりました。世界中から食べものが買い集められ、食が豊かになったといわれる現在ですが、むしろ実際には食の環境は悪化しています。食への関心は低く、働き盛りの世代では、メタボが問題になり、糖尿病や高脂血症などの生活習慣病も増えています。

一方、好きなものを好きなときに好きなだけ食べられる時代になったため、個人差も大きくなり、栄養過剰と栄養不足が偏在する時代になりました。その結果、働き盛りの男性では肥満者の割合が増加・女性では低体重(やせ)の人が増加しています(図1、図2参照)。そして、野菜の摂取量が少ないのも朝食の欠食が多いのも子育て中の親世代という結果が出ています(図3参照)。

●高齢者はロコモ予防で健康寿命の延長

超長寿社会になり、子供から老人まで生涯にわたっての食育を再認識する必要がある時代を迎えました。高齢者も健康寿命をのばすための食事のあり方や適度な運動習慣を身につけることが大切な時代です。要支援・要介

護になる原因の第一位は骨・関節・筋肉・神経など体を動かす運動器の障害ロコモティブシンドローム(通称ロコモ)で、現在40歳以上の人でロコモの恐れありという人が4700万人を超えています。70歳以上の人は低栄養にも注意して、自分で作り、しっかり食べるという意識が必要です。

●全ての食育は家庭から始まります。

子供も大人も自分で食を選択できる能力を身につけるためには、楽しく作り本気で食べることが大切です。

最近は簡単に手に入るお惣菜やレトルト食品を利用して一人一人が好きなものを食べる、しかも、みんながそれを気にしないという家庭が増えています。こういう食のスタイルでは、会話も生まれず、食事を用意する人への感謝もそして、食べ物そのものへの感謝の気持ちも生まれません。「いただきます」「ごちそうさま」という言葉の意味をもっと真剣に考える必要があると思います。



ほんだ きょうこ
本多 京子 さん

医学博士・管理栄養士。実践女子大学家政学部食料学科卒業後、早稲田大学教育学部体育生理学教室研究員を経て東京医科大学で医学博士号を取得。食育基本法制定以来、10年間日本食育学会理事。日本食育協会理事。日本体育大学児童スポーツ教育学部では「子供の食と栄養」を担当。著書は60冊を超え、近著に「シニアの楽々元気レシピ」(NHK出版)「ボケ防止ごはん」(主婦の友社)「食事と栄養の教科書」(永岡書店)などがある。

御礼! あいち国際女性映画祭2015

9月1日から9月6日まで開催した今年の映画祭は、1万4千人余りの方々にご来場いただきました。ウィルあいち会場、岡崎市会場、知立市会場、弥富市会場に足をお運びいただいた皆様、本当にありがとうございました。



華やかなゲストが来場

今年は20回目。国内外から多数のゲストが来場され、貴重なお話を伺うことができました。『ふしぎな岬の物語』の吉永小百合さん、『蝸ノ記』の原田美枝子さん、字幕翻訳者の戸田奈津子さんなど、国内からは17名、インド、カンボジア、フィリピン、アメリカからは7名の監督や主演女優に来場いただき、映画への想いを熱く語っていただきました。

アジア・ムービー インパクトの設立

映画製作が活発なアジアの映画を積極的に上映するため、国際交流基金アジアセンターの助成による「アジア・ムービー インパクト」を創設し、ASEAN地域を中心にアジア7か国の映画9作品を上映しました。

フィルム・コンペティション(長編フィルム部門・短編フィルム部門)の開催と映画賞の創設

新進女性監督の登竜門を目指す長編フィルム・コンペティションを新設し、2012年から実施してきたショートフィルム・コンペティションと合わせて「フィルム・コンペティション」を開催しました。また、長編・短編部門にそれぞれ映画賞を創設しました。

<長編フィルム部門>

グランプリ 金のコノハズク賞 『彦とベガ』(日本/2014/64分) 監督: 谷口未央

準グランプリ 銀のコノハズク賞 『I AM THE PEOPLE』(フランス/2014/111分) 監督: アナ・ルシヨン

<短編フィルム部門>

グランプリ 金のカキツバタ賞 『きつね憑き』(日本/8分) 監督: 佐藤美代

準グランプリ (2作品)

銀のカキツバタ賞 『FRESH MINT』(日本/30分) 監督: 吉田真由香

銀のカキツバタ賞 『笑門来福』(日本/30分) 監督: 酒井麻衣

観客賞 『FRESH MINT』(日本/30分) 監督: 吉田真由香

国連広報センター連携企画

「男女平等と女性のエンパワーメントが世界を変える!」をテーマに、国連広報センターの根本かおる所長、インドのディーパ・ゴパラン・ワドワ大使、マケドニアのアンドリヤナ・ツヴェトコビッチ大使、ミャンマーの作家ティン・ティン・ウィンさんによる「女性大使ミーティング」を開催しました。また、UN Women親善大使の女優エマ・ワトソンさんの国連でのスピーチなど、国連が製作した10本のドキュメンタリー作品を上映しました。

「女性の活躍、わが社のチャレンジ ショートフィルム2015」

映画祭期間中毎日、企業における女性の活躍やそのための仕組み、環境整備などを紹介するショートフィルム6作品を上映しました。これらをまとめたDVD(89分)は、ウィルあいち情報ライブラリーで視聴・貸出できます。

【参加企業】 岡谷鋼機株式会社、株式会社グローバルママ・ゲートウェイ、中北薬品株式会社、日本信号株式会社、日本メナード化粧品株式会社、深田電機株式会社

来年は第21回! 皆様と会場でお会いできますように。

【問い合わせ先】

あいち国際女性映画祭事務局 〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地
(公財) あいち男女共同参画財団企画協働課内 電話 052-962-2520

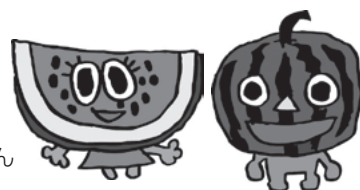


このコーナーでは、県内で活躍する団体にスポットを当て、その活動をご紹介します。
今回は、「岡崎市男女共同参画推進サポーター すいか隊」をご紹介します。

岡崎市男女共同参画推進サポーター すいか隊

こんにちは!結成5年目を迎えた「すいか隊」です。おもしろいネーミングで、初めてお会いする方々からは大変不思議がられますが、実は“すてきないきかたかんがえよう”の頭文字をとって命名しました。現在、女性9名・男性4名の13名とマスコットキャラクターの“さんちゃん”と“かっくん”とで、岡崎市民の皆さんに男女共同参画に対する意識の向上と、生活スタイル改善のきっかけ創りとして、様々なジャンルの出前講座やイベントの開催、年2回発行の情報誌[kiratto]の編集活動をしています。

今年度は、新たに市の委託事業を任せただけの運びとなり、現在2つの小学校区において男女共同参画の視点からの『防災』や『子どもとの関わり』をテーマに事業を展開しているところです。また、今年で3回目となる「すいかプロジェクト」では、地域の総代さんや女性団体さん、市民活動団体さん…などにお越しいたいて『しゃべり場』なる意見交換ができるワークショップを行ったり、日本女性会議への参加で得た情報や学びを“伝える”という『活かす活動』もしています。なんといっても参加者の皆さんをはじめ、私たちの一番のお楽しみは、会場に作られた通称「すいかカフェ」と呼ばれるエリアです。ここでは、お手製のお菓子とお茶でちょっとしたおもてなしをしていて、毎回大変喜んでいただいています。



さんちゃん

かっくん

さて、今後の課題としては、一緒に行動をしてくれる隊員を増やすことと、岡崎市民の方にもっと「すいか隊」を知っていただくことです。そのためには、今以上に地域との連携を強固にした活動をし、信頼のネットワークを広げていかななくてはなりません。



岡崎は、歴史的にも非常に有名なところで、それ故に、永年守られてきた様々な慣習もある土地柄です。ですから、先輩方が今まで守り培ってきた大きな人と人との関わりを崩さずに、次に担う私たちからさらに若者たちにうまくバトンを渡していけるよう、柔軟性を大いにとり入れた男女共同参画作戦が求められているように思います。ことに、防災に関しては、日に日に意識を高めていかななくてはならない状況になりつつあり、関係各所のご指導をいただきながら啓蒙活動を進めていきたいと思っています。

少人数のこじんまりとした「すいか隊」ですが、元気に笑って全員で前に進んでいけるよう努力していきますので、応援よろしくお願いたします!

問い合わせ先

岡崎市文化芸術部文化活動推進課 男女共同参画班
〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
TEL 0564-23-6222 FAX 0564-23-3165
HP「すいか隊」で検索してください。

女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介コーナー

株式会社豊田自動織機

当社では、2020年度までに女性管理職数を現在の3倍を目標に掲げ、社内PJを設置し取組みを進めています。「活躍のかたちは色々あっていい」昇格以外にも、仕事の質の高まり、範囲の拡がりも活躍ととらえ、全社員が幸せになる働き方をめざします。



人事部 人材開発室
組織G 担当員
藤原なるみさん

「幸せは自分の心が決める」が私のモットーです。仕事と家庭の両立は自分が選択したこと、そのお陰で仕事をやり遂げることから得られる充実感と、子供の成長を通しての喜びと、両方得られる自分はとても幸せだと思います。

家庭では、「家族皆が家事を分担し助け合って暮らすこと」が理想です。娘たちが、独立したときに困らない家事力を持てるよう育てていく事も大切だと思います。

自分一人で出来ることは限られるので「絶対自分でやるべきこと」を見極め、他は、家族、周囲の皆さんの力をお借りすることで、ここまでやってこれたと思います。全てに完璧を求めすぎないことも両立のコツでしょうか。

仕事もプライベートも「ご縁を大切に」しています。「チャンスは自分からは断らない」「自信がなくてもまずは飛び込んでみる」その繰り返しで、自分の世界が拡がり、豊かになると思います。

中部国際空港旅客サービス株式会社

当社は、中部空港内の店舗・案内所等の運営を担う会社です。女性の比率が83%と高く、「ありがとうカード」等の取組みを通じてコミュニケーションを大切に、能力を十分に発揮し活躍できるような支援に取り組んでいます。次の目標として「2020年3月までに女性管理職比率30%」を目指していきます。



販売サービス部
免税売店 副支配人
武田友美さん

これまで多くの先輩・同僚・後輩とのかかわりの中で、ライフスタイルの変化に合わせた働き方、考え方を持つことが大切だと気づかされました。女性にとって仕事・家庭に関わらず、能力を発揮するには自己成長とともに、自分が関わった会社や人と円滑な関係を築くということが、やりがいにつながる大切なポイントのように感じられます。

周囲の方の意見を参考に、変化に合わせた柔軟な考え方を持ちながら自己成長を意識しつつ、文化や価値観・性格の違う部下たちをどうしたら成長させることができ、成果につながるのか、を日々考えるよう心がけています。

公開講座の あいち女性連携フォーラム公開講座

ご案内

しなやかに、わたしらしく！ 活躍する女性へ

受講者募集!!

託児付き(要申込み)

第1部 基調講演
梶山学園大学 教授 吉田あけみ氏
しなやかに、わたしらしく！ 活躍するために

第2部 ワークショップ
一人ひとりが、わたしらしく！ 活躍できる社会にするために
～わたしへの気づき・社会への気づき～

●日	時	平成28年2月27日(土)
		14:30～16:30
●会	場	1階 セミナールーム1・2
●受	講	料 500円
●対	象	男女問わず
●定	員	80名
●申	込	締切 2月16日(火) 必着

問い合わせ先 (公財)あいち男女共同参画財団(事務局) 電話 052-962-2512

情報ライブラリー Book Cafe

虹色ミックスジュース～多様なパートナー・家族のかたち

ライブラリー BookCafeにやって来たウィルおじさんとあい子さん。

おじさん 「新メニューだって！これにしよう！」
 あい子さん 「虹色ミックスジュース？いいわね。いろいろ混ぜているからおいしい…最近の社会みたいね。」
 おじさん 「それってどういうこと？」
 あい子さん 「性別、年齢、人種、文化、いろいろあるから面白いと多様性を受け入れていく動きね。家族だっていろいろ、再婚家庭なんか珍しくなくなっているし、パートナーは同性という人たちもいるわ。最近はそのような性的マイノリティ（LGBT※）に対しても職場や学校で少しずつ配慮が進んでいるようよ。」
 おじさん 「そうなんだ、早速本を読んでみなきゃ！」



情報ライブラリーには、多様なパートナーや家族のあり方についての本がたくさんあります。あなたも読んでみませんか？

※LGBT…レズビアン（女性に惹かれる女性）、ゲイ（男性に惹かれる男性）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（性同一性障害）の頭文字を取った、性的マイノリティの総称

多様なパートナー・家族のかたち



『ふたりのママから、きみたちへ』

東小雪、増原裕子著（イースト・プレス）

2013年春に東京ディズニーリゾートで結婚式を挙げた女性カップルが、ふたりの未来の子どもに向けて、国際的な同性婚法の流れやLGBTの基本的な知識を織り込みながら「家族」のかたちや「パートナーシップ」、「自由」について考える。

『同性婚 私たち弁護士夫婦です』

南和行著（祥伝社）

多様な性を当たり前を感じる社会であってこそ、すべての人が自分らしく生きられる！著者である弁護士が、自身の同性婚や同性愛者の葛藤と困難、法律が家族や婚姻をどう捉えているのかを語る。



『みんなで考える家族・家庭支援論 知っていますか？ いろいろな家族・家庭があることを』

草野いづみ編著（同文書院）

ひとり親家庭、離婚や再婚を経た家庭、DVにさらされる保護者、虐待される子ども、定住外国人家族、被災地に暮らす家族…さまざまな子どもとその家族・家庭をどう支援するか考える。



『シングルのつなぐ縁』

椎野若菜編（人文書院）

世界中の血縁家族をつくらない人たちに注目。既存の家族から離れ、いったん「ひとり」になった個としての人間が、友人、新しい家族、再び新たな縁を結んでいく様を分析し、人の絆とは何かに迫る。



おじさん 「パートナーや家族って、いろんなかたちがあるんだ。みんなちがってみんないい、だね。」
 あい子さん 「本当ね。うちも夫婦ふたり、これからもずっと…でも、どうなるかしら？先のことは、わからないわね。」
 おじさん 「そんなこと言わないで〜〜！！」

◆整理休業のお知らせ

ウィルあいち情報ライブラリーは、蔵書点検等のため、次の期間は休業します。平成28年1月27日(水)～2月2日(火)
問い合わせ先/ウィルあいち情報ライブラリー 電話 052-962-2510

ウィルあいちフェスタ2015 御礼

11月21日(土)、ウィルあいち全館で開催しました「ウィルあいちフェスタ」。近隣、遠方を問わずご来場いただきました沢山の皆様、ありがとうございました。また、様々な企画でご参加いただきました29団体の皆様、お疲れ様でした。フェスタでの出会いや体験によって交流の輪がより一層拡がり、それが男女共同参画の促進につながっていけば、企画したスタッフ冥利に尽きます。

この場をお借りして、御礼申し上げます。

問い合わせ先/(公財)あいち男女共同参画財団 企画協働課
電話 052-962-2512

ウィル おじさん

絵:ナハ



編集後記

今回の「ウィルプラス」はいかがでしたか？あなたのご意見ご感想を（公財）あいち男女共同参画財団企画協働課までお寄せください。

「ウィルプラス」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。ホームページからもご覧いただけます。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

愛知県女性総合センター（ウィルあいち）のご案内

開館時間 9:00～21:00

■情報ライブラリー利用時間 9:00～19:00

休館日 年末年始（12月29日～1月3日）、施設点検日（年10回程度）

■情報ライブラリー休業日

上記の他、毎週月曜日（祝日の場合は翌日も休業）、祝日（土日は除く）、整理期間

所在地 〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地

問合せ先 <http://www.will.pref.aichi.jp/>

■施設利用受付 指定管理者 コングレ・愛知グループ
（ホール・会議室・宿泊室）

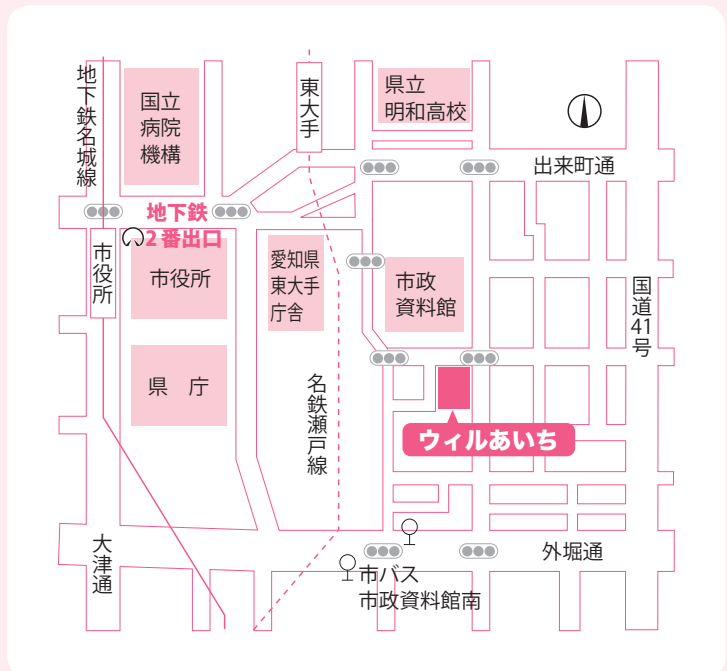
電話 052-962-2511

■情報ライブラリー

電話 052-962-2510

【交通のご案内】

- 地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ 徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ 徒歩約8分
- 基幹バス、名鉄バス「市役所」下車東へ 徒歩約10分
- 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ 徒歩約5分
- 駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。
(駐車場有料)



ウィルプラス No.84 2015

編集・発行	公益財団法人あいち男女共同参画財団
住所	〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地 (愛知県女性総合センター内)
電話	052-962-2512 (企画協働課)
F A X	052-962-2477
財団HP	http://www.aichi-dks.or.jp
発行	平成27年12月 (年3回/次号:28年3月発行予定)